

第 2 3 回八代地域審議会発言要旨

委 員	事 務 局
■審議事項（1）八代市総合計画後期基本計画について（企画政策課） 【資料1】	
<ul style="list-style-type: none"> ・外部の諮問委員会のようなものが作成もとになっているのか。 ・国・県の施策との整合は取れているのか。 ・議会関係者はこのことを知っているのか。 ・この審議会で審議した内容についてどの程度修正が可能なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の策定審議会という諮問機関に市長から諮問させてもらい、一回目の審議を開催したところである。 ・県の4カ年戦略との整合性も含めたところで、県の振興局を通じて素案の内容の確認をしてもらっている。また、各課それぞれの部局において上位計画との整合も図りながら作成している。 ・議会には中間報告を行う。基本構想は10年間の議決を得ているが、前期・後期計画の議決は必要ないため報告となる。 ・各地域審議会でいただいた意見を各課で検討し、必要があれば当然変えていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・「活力ある商工業のまちづくり」というのをはたして商店街の人は読んでわかるのかなと思う。方向性は決まっていて、商店街は具体的には何をするのか考えなさいというような方向性でいいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画は市政全般に渡っての今後5カ年間の基本的な方針（方向性）を定めたもので、これに基づく具体的な事業は個別分野ごとの計画によるものである。また、民間や市民と一緒に協働で進めていくべきものと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・策定審議会の答申を受けて議会に最終的な報告をされた後に、25年度に実施計画を作るということか。 ・重点施策の基本目標を5年後の将来の姿を書いているのは、表現の仕方が市民にとっても職員にとっても分かり易いと思う。 ・前期の目標値がいくらであったのかが分かればまだ市民には分かり易かったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画に基づいて実施計画を毎年度、毎年度、実際予算が伴った計画は作っていくので、具体的な事業等はその実施計画に基づいて進めていくことになる。 ・成果指標については年度途中で結果が出ていないものもあるので、今後取りまとめて公表する。前期計画の進捗状況については全体で75%達成と分析している。
<ul style="list-style-type: none"> ・26ページの（2）の主な取り組みの中で「民生委員・児童委員の活動支援」とあるが、「ふれあい委員」についても名前を出してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見としていただく。

委員	事務局
<ul style="list-style-type: none"> ・「やすらぎと活力にみちた魅力かがやく元気都市やつしろ」の「みちた」と「かがやく」が平仮名だが、教育県、教育市とするためには漢字でないといけないと思う。中身を見たら「みちた」「かがやく」の説明がどこにもない。タイトルから考えるべき。 ・4ページ、「郷土を拓く人を育むまち」の下に「八代の未来を担うひとづくり」と平仮名で「ひと」としてあるので言葉を統一してもらいたい。 ・11ページ、「人と自然が調和するまち」重点施策で「環境保全行動の促進」だけしか書かれていない。なぜ市が持っている河川、球磨川、山、平野、海、がないのか。 ・109ページ、今までは自然環境を希少動物とかの考えであったが、現実には鹿やイノシシに自然環境が荒らされてきている。そういったことが書いてない。もう少し現実を踏まえて環境教育的な考えを変えて、農林水産業の発展とかを考えてもらいたい。 ・生涯学習がどういう意味をもっているのか考え、箱物だけでなく、社教主事を教育するなどの人的育成の重点化が大事である。行政職員だけでなく、市全体の人材育成をどうするかというのが大きな課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見としていただく。 ・文言で指摘があったところは、基本構想で定められた、すでに議決をいただいた10年間はこれでいくと決定している部分である。
<ul style="list-style-type: none"> ・90ページ、「農村環境の整備」というところで「集落単位での保全活動に取り組みます」とあるが、集落単位が高齢化して担い手がないのでどうやって取り組んでいくのか、そもそも考え方がおかしいと思う。「地域全体」とか「みんなで」取り組みますという形にしないと農村は太刀打ちできないと思う。 ・担い手を育てる前に農業という産業が成り立つことが基本。農業だけでなく、そこに関わっている例えば、農機具や資材を扱う人達も一緒に、産業として成り立つような計画に変えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見としていただく。

委員	事務局
■審議事項（２）八代市住生活基本計画策定に伴う地域の意見について（建築住宅課）【資料２－１、２－２、２－３】	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域を４つに分けてあるが、総合計画では３地域の設定になっている。４地域のほうが具体的で良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住む地域で課題が違っているという意見が策定委員会が出たため、総合計画よりも詳しく分けている。
<ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭の方から、市営住宅に入りたいが空きがなく待っている状態という話を聞く。本当に必要としている方が優先的に入れるような仕組みづくりが必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭には抽選回数を１回増やしているが、空き数が少ないことからなかなか入れない。子育て世代には支援が必要という課題も出てきているので、今後民間との協力ということも含めて検討していきたい。
■審議事項（３）八代市地域福祉計画策定・評価委員会委員任期満了に伴う委員の推薦について（障がい福祉課）【資料３】	
<ul style="list-style-type: none"> ※大林委員の再任について承認される。 	
■報告事項（１）八代市保育所民営化等計画について（こども未来課）【資料４】	
<ul style="list-style-type: none"> ※意見無し 	
■報告事項（２）小中一貫・連携教育について（学校教育課）【資料５】	
<ul style="list-style-type: none"> ・校区ごとに特色のある取り組みは大事にしながら進めるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域が地理的状況、歴史的状況を踏まえながらそれぞれの校区に合った取り組みを小中合同で進められており、これは今後も続いていくことになる。